

目標達成計画

作成日: 令和 2年 10月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	スタッフ入れ替えによるわが家の方向性、考え方にバラつきが出たり、介護度が重くなった時に職員が楽な方に逃げたり、良い取り組み自体が風化してしまう可能性がある。	職員全体が同じ方向を向いて、日々の業務に取り組める。同じ意識を持てることでスタッフがストレスを感じない。	新人スタッフへのオリエンテーション(導入教育)でグループホームの役割、重要性、グループホームみんなのわが家はるかの特徴(セールスポイント)を理解してもらう。またサブリーダーを中心に、今いる現状のスタッフへの教育も行っていく。	12ヶ月
2	14	職員は他グループホームの事業所がどういう風に行っているのか知る機会が少ない。以前は積極的に施設見学に出向いていたが、新型コロナの影響で昨年末あたりから実施できていない。	他事業所を見学する事で視野を広げることができる。	新型コロナが落ち着いたら、南区のGHを中心にスタッフ同行で施設見学を行う。GH連絡会で意見交換や発言する機会を持ち、他事業所の情報収集を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。